

将来像と方針

- 1 高齢者や子どもたちが、安心して、いきいきと暮らすまち**
 - 高齢者や子どもたちを地域で見守り、支え合い、安心して暮らせるまちをつくりたい。
 - 知識、経験、趣味など、高齢者の力を活用して多世代の交流を進め、子どもたちと高齢者が交流する場をつくりたい。
 - 地形条件などを踏まえ、高齢者などの移動を支える地域交通システムを検討したい。
- 2 多世代の人々が住み、子ども世代が戻ってくるまち**
 - 世代更新や子ども世代が住む受け皿となる多世代型住宅などへの建替えを推奨したい。
 - 高齢者の地域内の住み替えや若い世代が地域に住みつく場として、地域環境への調和や貢献を条件に、共同住宅を受け入れていきたい。
 - アパート居住者の自治会加入を促進し、ルールを守ってもらうと共に、若者連との交流を進めたい。

3 安全で、人に優しく、楽しく歩けるまち

- 地区の玄関口となる月見台名店街（中野高生田線）の歩道整備、安全対策を推進したい。
- 生活道路の通過交通対策を進めると共に、緊急車両が入れる安全な道づくりを進めたい。
- 主要な生活路線となる坂道や階段の改良、魅力づくりを進めたい。



改修された月見台名店街の歩道

4 低層住宅を中心とした美しい街並みのまち

- 現在の敷地規模の維持を目標としつつ、現行法規制に基づき敷地の適度な細分化を防止したい。
- 宅地と道路が接する外構部分を中心に調和ある街並みのデザインを誘導したい。デザイン・ガイドラインの制定などを検討したい。
- 大規模敷地の開発やアパート建設について開発協定を行ない、地域貢献型の開発を誘導したい。自治会のアパート協定を成文化したい。



わが家のシンボルツリー



緑の街並み

5 緑に包まれた、潤いと風格のあるまち

- 生垣化を促進・支援し、地域の緑を保全したい。
- 眺望地点、シンボリックな緑、地域資源など、地域の景観資源を保全し、活用したい。
- 地区の美観を損ねる電柱・看板対策を進めたい。月見台の入口である交差点部分の景観整備を進めたい。

6 地域の持つ力で、安全・安心なまち

- 耐震診断や総合的ハザードマップづくりなど、地域全体で安全・安心なまちづくりに取り組みたい。
- 「地域で出来ることは地域で」を基本とする自治会独自の災害対策マニュアルに基づき、震災時の体制づくりを進めたい。
- 危険情報やマニユアルの周知、災害発生時など、緊急時の情報伝達システムを整備したい。

7 コミュニティの力が地域の文化になるまち

- 地域の人達がお互いに知り合う場となるような新しい「まつり」を創造したい。月見台自治会の活動の継承と発展を図りたい。
- 各人の趣味や特技を活かし、多様で生き甲斐となる自主的な地域貢献活動を推進したい。
- 多種多様な地域活動の拠点をづくりたい。学校、周辺自治会、商店会、生協などとの連携・交流を進めたい。



生田6丁目公園で開催したフリーマーケット風景

まちづくりの進め方

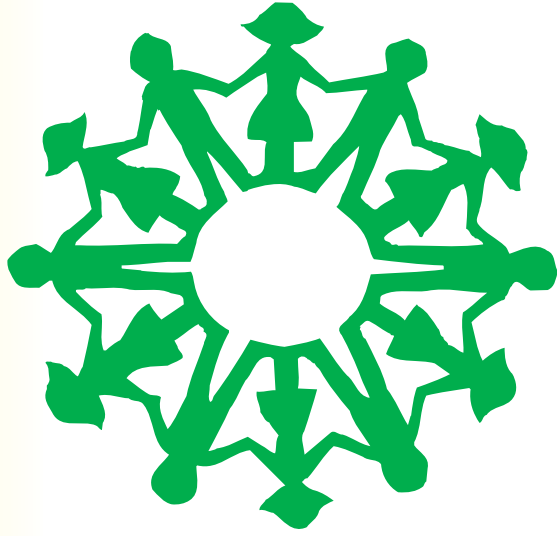
- 自治会の専門部など、自治会活動との連携を図っていききたい。
- まちづくりのルールは、より良いまちにするためのガイドライン（指針）として、皆様の協力で自主的に守っていききたい。
- 地域の皆様や事業者の方々への周知を図り、理解を求めていききたい。
- プランは、優先順位をつけて、プロジェクト化していききたい。



まちづくり

笑顔あふれる、ふれあいのまち

— いつまでも安心して住みつづけるために —



まちづくり

私たちは、月見台の誕生以来、地域住民が協働してまちづくりを進めてきました。これまでの取り組みを継承・発展させ、「いつまでも安心して住み続けられるまち」に育てていくため、住民や事業者などが目指す指針として、このプラン・ルールを定めました。

次世代に引き継ぐ、私たちのまちの目標

- 地域の人々が支えあい、高齢者が末長く暮らし続け、子育てのしやすいまちをめざす
- 優れた居住環境を保ちつつ、多世代が住む、安全で潤いのあるまちをめざす
- 地域のコミュニティ力を継承・発展し、“月見台文化”を創造する